

2015年2月18日

世界最薄*の赤外線吸収フィルターを開発

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：有岡雅行）は、ガラス素材自体に赤外線を高効率で吸収する特性を持たせた、世界最薄の赤外線吸収フィルターを開発し、サンプル提供を開始しました。

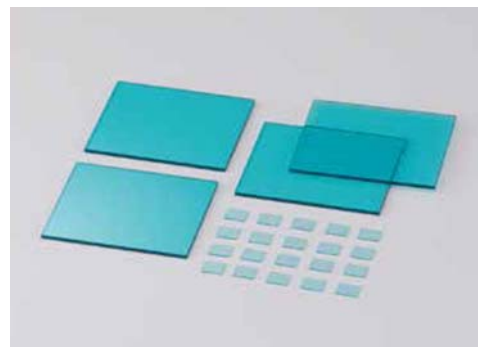
赤外線吸収フィルターは、可視光線域では非常に高い透過率を保ちながら、赤外線域においては高い吸収効率を持ち、分光感度を人の目の感度に近づけることができます。これをイメージセンサーの前に配置することで、撮影された映像や画像をより自然な色合いに近づけることが可能となり、デジタルカメラやスマートフォン、監視カメラなどに広く利用されています。

現在スマートフォンでは、主に厚み 0.21mm の赤外線吸収フィルターが使用されていますが、当社がこの度開発したフィルターは厚みが従来の半分の 0.10mm でありながら、同等の赤外線吸収特性を持ちます。これによってスマートフォン等のモバイル機器のさらなる薄型化に貢献することができ、また、AR（反射防止）コートや IR（赤外線反射）コートを施すことも可能です。

* 当社調べ

- 製品寸法： 76mm × 76mm（標準品）これ以外のサイズについても対応可能です。
- 量産販売時期： 2015年夏頃(予定)

（製品写真）



（リリース内容に関するお問い合わせ先）

日本電気硝子(株) 総務部 広報担当

電話：077-537-1702

（製品に関するお問い合わせ先）

日本電気硝子(株) 電子部品事業本部営業部(大津)

電話：077-537-8767

日本電気硝子(株) 電子部品事業本部営業部(東京)

電話：03-5460-2510